



平成19年 8月15日

8 7 6 5 4 3 2
面 面 面 面 面 面 面

大島地区協公民館運営研究会
まつかわ大学
男の料理教室
まつかわロードレース
みんなが仲良く・埋文
スポーツ・情報
なかまたち・すぼつと・
こどもの詩・俳句・短歌
フェスタおんあらいのぎ
おん・ペンペン草



まつかわ百景 ⑮ 「貴陽」

平成12年、松川町に導入され17年より本格出荷が始まったスモモ「貴陽」。

白い笠を被った紅色のお姫様のようだ。

終戦記念日8月15日に黙祷で始まる松川町の成人式。私も父親が戦死と言う事もあり、戦争の歴史を風化させない為にも黙祷で始まる形式は気に入っている。

成人の皆さんおめでとつございませう。人生の節目として素直な気持ちで祝意を受け止め、自分自身を見詰め直す時に欲しい。何年か前全国各地で成人式が荒れて問題になった。松川町も荒れないまでも大騒ぎで収拾がつかず、唾然としたものだった。近年はすっかり落ち着き、式典らしくなった。荒れる騒ぐの基はほんの一部の人が発端で、周りがそれに同調する。松川中学校も同様な事が何年か続いた。育つた時代、背景、環境に依る影響なのだろうか。

若い皆さんに少し思いを述べれば、男女共同参画が叫ばれ

主張

成人の皆さんへの念慮

今日において些か一方的な意見と感しているが、男性には野性味というか人(女性)を魅きつけるたくましさをも身につけ、力強く生きて欲しい。女性

はどんどん社会へ進出、活躍の時代となつて来たが、女性の結婚観、人生観、生き方が大きく左右される。やはり女性には、優しく良いお母さんに夢と憧れを持って欲しい。少子化対策が叫ばれ、子育て支援等も段々充実の方向へ施策されるだろうが、どうしても幼児時代は親が手元で育てて欲しい。教育云々の前に、次世代への心豊かな子供育成の為に願いをこめて。

素晴らしい二十才。二十才は一回。清く強く生きる事を心に誓って欲しい。
松川町教育委員長 倉田 紀

平成19年度松川町公民館 大島地区協議会公民館運営研究会



講師の堤久氏

演は松川町社会教育委員会委員長の堤久氏による自然と関わってきた事から感じる思いについて。

7月5日木

平成19年度松川町公民館大島地区協議会運営研究会が町中央公民館の大会議室を会場に開催された。

協議会長挨拶、出席者の自己紹介のあと、協議事項へとすすみ平成19年度協議会事業計画及び平成19年度協議会収支予算報告がされた。

今年度の講



熱心に意見交換がされました

現在、川路のかわらんべで子ども、成人、教育委員等を対象とした講座を開かれている堤さんがかわらんべで最初にされた事は周囲に草つばらを作る事。今の河川は3面コンクリートなので、多自然の物を使い草花を植え子ども達の遊びの舞台を整えたかったと言われた。

講座は水辺を中心とした川遊びが主で、ザザムシ取り、久米川で魚取り、水切り、笹舟、砂鉄集め、バードウォッチング、つみ草クッキングなど、とても魅力的な内容ばかりですぐにでも参加したい気分になってしまった。

印象に残ったお話に、子ども達は、人類発生の700万年分を12年間で学べるのだということだ。生まれて這って立ち



講師の鎌田實氏

上がり、人との交流の中から社会性を身に付け、挫折しにくい強いこころを持ち人に対する思いやりも育つ。

遊ぶ空間、仲間、時間が無いといわずに多くの仲間と自然の中で活動し、心身ともに成長していく手助けとして公民館があればいいのではない

まつかわ大学 「生かされて生きる」

—生き方の「コツ」教えます—

7月21日(土)町体育館卜レーニングルームにおいてまつかわ大学が開催された。

講師は諏訪中央病院名誉院長の鎌田實氏。

保健師さんから地域に出たらどうかと言われ、農閑期の寄り合いに出かけているうちになぜみんなが良くならないか。それは自分の力が足りないからだ！という事に気付かされた。その後地域医療の発展に尽力されたのは皆様もご存知のとおりである。

先生から私たちの日常生活においての興味深いお話があったのでここでご紹介したい。

- ・ウエストが男性85cm女性90cmを超えない。
- ・繊維質の物を多く摂取する。
- ・きのこ・こんにやく・海藻など。

・BMIが22であれば理想的。
(体重kg÷身長m÷身長m)

だろうかと、言われた。松川町内では、古町北部の天竜川に入る川が良さそうだという。

いずれは無理でも、近い将来川でたくさんの子ども達が歓声を上げて遊ぶ光景を想像するだけでワクワクする。

- ・コレステロール値240〜270(高)の方が200〜220(正)に比べると死亡リスクが低い。
- ・魚(週5回)と色の濃い野菜を食べる。色素の薄い物は抗酸化力を高めるため老化防止に役立つ。
- ・インターバル速歩を行う。速歩↓ゆつくり↓速歩↓ゆつくりをくり返す。



鎌田氏の話に引き込まれます

以上のことを毎日の生活にとりいれて出来ることをしていこうと思う。

先生のお話は役に立つことやご自身の家庭の事、見守って来られた患者さんの事など胸にひびく感動をおぼえるお話で、あちこちで涙ぐむ人がいたが私もその一人だった。テレビなどに出演されるお忙しい先生の貴重な生の声がお聞きできたのは良いことだった。



みんなの努力の結果

男の料理教室



今回の旬の食材



丁寧な下ごしらえが美味しさの秘訣

波瀾万丈の人生を戦ってきた男達：その新たな戦いの舞台はキッチンだ！7月22日中央公民館にて、男の料理教室が行われた。集まった16名の漢（おとこ）達は、頭に手ぬぐい・エプロンや割烹着を装備。教官を務める農村女性ネットワークの皆さんの指導を受けながら、新たな取り組みに挑戦した。

メニュー

- ・魚フライの大根おろしがけ
- （野菜の素揚げ添え）
- ・塩イカときゅうりの黄金和え
- ・味噌汁
- ・デザート（メロン）

参加者は5つの班に分かれ、実習を開始。丁寧な包丁さばきで、材料の野菜を切っていく。「うまい、みんな手つきが良い！」エプロン姿の松村公民館長も賞賛の一言。

各班が野菜の切り方、盛りつけ方など工夫を凝らして作

ランスもよく。大根おろしをかければサツパリといただける。小鉢は、地元食材の塩イカと旬のキュウリのハーモニー。シシャモのタマゴが彩りと旨



盛り付けも楽しく美しく…

野菜のかぼちゃ・ナス・ピーマンの素揚げを添えて栄養のバ

り上げていく。所要時間1時間半ほどで力作が完成。大会議室に運び、みんなで「いただきませう！」と、お味は？

健康の秘訣！1日1回魚を食べよう。というわけでメインのおかずは魚のフライ。夏野菜のかぼちゃ・ナス・ピーマンの素揚げを添えて栄養のバ



香ばしく揚がってきました



熱々味噌汁とご飯を盛り付けて…

デザートのメロンを頂きつつ、それぞれの感想を発表。「意外と自分でも出来るもんだな。これからも少しずつ作っていきたい。」「料理に興味なかったけど退職後、奥さんに勧められ参加。とても有意義だった！」「これで女房が旅行に行っても温かい飯と汁が食べられる」「こんなに楽しいなら去年から出ればよかった



お皿の並びはこれでいいかな？

みを醸し出す。味噌汁の味噌は手作りの味噌。じゃがいも、ささげ、ネギ、ワカメがたっぷり。懐かしい味わい。ご飯と味噌汁はお代わり自由のセルフサービス！

期待したい。参加者各位の今後の健康に



お片づけまでが料理です。

今回の体験を通じて「毎日ご飯を作ってくれる奥さんの苦労がわかって素直になれた」という意見も。

「た」と初参加者。参加2回目ベテランさんは「若い衆と一緒に出来てよかった！」「テキパキ気持ちよく教えて頂き、わかり易かった。レシピも大きく読みやすかった」



「美味しい！」おかわりもう一杯

まつかわロードレース

中央道西側の果樹園地帯を貫く「桑園増野横断道」愛称「アルプス街道」の全線開通を記念して、ロードレース大会が去る7月22日に開催された。

朝10時一斉にスタートとなり、ランナーの皆さんは沿道の声援をうけさわやかに走っていました。



大会参加受け付けの頃には曇天だった空も開会式が終わりスタートがせまる頃には暑いほどの晴天となりました。今大会には町内外から約350人の方がエントリーし、県外からも愛知を中心に遠くは埼玉からの参加者もいました。コースは小学生男女と、ファミリーの部の2・5kmと、中学生男女、高校生年齢別一般男女の5kmで競われました。



大会参加受け付けの頃には曇天だった空も開会式が終わりスタートがせまる頃には暑いほどの晴天となりました。今大会には町内外から約350人の方がエントリーし、県外からも愛知を中心に遠くは埼玉からの参加者もいました。コースは小学生男女と、ファミリーの部の2・5kmと、中学生男女、高校生年齢別一般男女の5kmで競われました。

ファミリーの部では、立ち止まってしまう子供を抱えて走るお父さんの姿もありほほえましかったです。走り終えた皆さんの笑顔が印象的でした。愛知県蒲郡市から参加された方は「友人たちと15人で参加しました。松川ICを降りてすぐから誘導が立ってくれ

ており、道が解りやすくとても良かったです。スタッフの皆さんも多岐にも是非参加したい」と話してくれました。大会実行委員長の原実さんに大会終了後に話を伺ったところ「無事大会を終わらせてほっとしています。350人も人が参加してくれてびっくりした。」と話してくれ、来年については「いつも走っている人には距離が物足りないかもしれないのでなんとかいいコースを作りたい。」また県外からの参加者については「松川町をもっと知ってもらいたいので、もっともっ

と県外からの参加者を増やしていきたい」と話してくれました。来年の大会が今から楽しみです。

ロードレースの結果

5 km男子総合の部結果

- 1位 西永佳人 松川町
- 2位 西中山宏 諏訪町
- 3位 酒井 浩 瀬戸市

中学生男子

- 1位 涌井紀宜 飯田市
- 2位 山本一道 松川町
- 3位 桃澤大祐 中川村

高校・一般29歳まで

- 1位 西中山宏 諏訪町
- 2位 酒井 浩 瀬戸市
- 3位 小林正俊 中川村

一般30～39歳まで

- 1位 伊藤健一 蒲郡市
- 2位 小澤健司 中川村
- 3位 松澤幸一 大鹿村

一般40～49歳まで

- 1位 西永佳人 松川町
- 2位 三村 茂 松本市
- 3位 小山雅人 松川町

一般50歳以上

- 1位 成田和人 蒲郡市
- 2位 南沢英夫 宮田村
- 3位 加藤之規 飯田市

オープン

- 1位 前澤俊弥 高森町



5 km女子総合の部結果

- 1位 片桐幸那 松川町
- 2位 横打一愛 阿南町
- 3位 片桐和佳奈 中川村

5 km中学女子

- 1位 江口由真 飯田市
- 2位 宮下ちひろ 松川町
- 3位 宮下真凜 松川町

5 km高校・一般40歳女性

- 1位 片桐幸那 松川町
- 2位 横打一愛 阿南町
- 3位 片桐和佳奈 中川村

5 km一般41歳以上女性

- 1位 五味ゆかり 諏訪市
- 2位 宮川なみ子 新城市
- 3位 小林和子 阿南町

2.5km小学男子の部結果

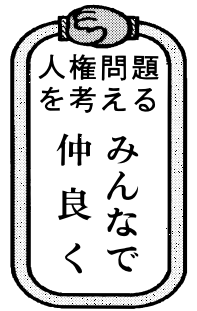
- 1位 熊谷 皐 松川町
- 2位 宮下直哉 松川町
- 3位 松下湧登 松川町

2.5km小学女子の部結果

- 1位 北林由里 飯田市
- 2位 中塚千和 高森町
- 3位 片桐萌々香 中川村

2.5kmファミリーの部結果

- 1位 清水博通・航大 泰阜村
- 2位 横前宏・大貴 飯田市
- 3位 代田義幸・華菜子 飯田市



友達になれたよ

中央小 4年 市岡恵梨

私は、3年生のころ給食当番の時、一人で食器を運んでいる人を見ました。

最初は、いっしょに運んであげようかまよったけど、もし自分が一人で思い食器を持っていたら、だれかに運んでほしいので、「だいじょうぶ？」と言って、いっしょに運んであげました。

その子とは、まだ友だちではなかったのですが、少しきんちょうしました。終わったら、「えりちゃんありがとう。」と名前を言ってくれたので、とてもうれしかったです。その時からその子と友だちになれたのでよかったです。

これからも親切にしてあげたいです。

こんなうれいこと

中央小 4年 まつ本けいた 3年生のときのことです。

ぼくが泣いたときに、クラス友達や、ぼくが以前泣かした人、泣かされた人が、なぐさめやあげましの言葉をかけてくれました。それに、泣いて連らく

帳が書けなかったのですが、友達がいっしょけんめいに書いてくれました。すごくうれしくて、少し元気が出てきたのと同時に、いい友達だなあと思いました。

一年生のときも、友達が物を投げたりしたので、泣いてしまったことがあります。このときも、その人がちゃんとあやまってきたのでうれしかったことをおぼえています。

悪いことをしたら、ちゃんとあやまる、悲しい友だちがいたら、なぐさめたりはげましたりする。こういうこといい友達になれるんだと思います。

友だちをたい切に

中央小 4年 遠どうせいや

ともだちとケンカをしたよごめんなさい。

いつもささえてくれるともだち ありがとう

新しい友だち

中央小 4年 北原 圭

4年生は、クラスがえをして新しいクラスになりました。4年生になって初日はすごくきんちょうしました。前に同

じクラスのみんなとは話せたけどちがうクラスだったみんなとはぜんぜん話せませんでした。一週間たつても自分から話せる人は2人くらいしかいませんでした。でも、声をかけた、いっしょにあそんでいくうちにクラスみんなと仲よくなっていきました。学級目標は、仲よし元気2組です。そのとおりになれるようにもつと自分から声をかけたり手伝ってあげたりしたいです。

いじめをなくそう

中央小 4年 くり原しょうご

「いれて。」やだよ。といういじめを見たことがあります。そのとき、いじめをなくそうと思いました。それには、たとえば、いじめをみたら、いじめている人を注意するとか、いじめられてる人を守るというふうにしたらと思います。

いじめた人は、かるい気持ちでやっても、やられた人はふかく悲しみます。いじめる人も、たぶないじめをうけてイライラしていじめると思っています。

いじめの元は、いじめだと思いません。だから、その元をなくせば、いじめは広がらず平和な町になると思います。

松川町の文化財

大島城(4) — 大島の館と大島城 —

教育委員会 酒井幸則

松川町の中世城館跡
戦国時代に武田信玄が大島城を修築する以前、即ち信濃が武田氏に占領される以前の大島城については史料がなく、おそらくは在地領主の大島氏が有事に備えて、立て籠もり用の城を築いたのが大島城の始まりであろうという程度しかわかっていません。有事の際に立て籠もる城ですから、普段は領主などが住むところではありませんが、普段は無人か、あるいは数名の番人がいた程度でしょう。

古い時代、在地の領主は自領の中心部に館を築いて住み、農業経営者として領民を指導支配していました。大島郷の大島氏が日常住まいした館について、江戸時代の史料には「大島の館」と記されています。この大島の館について、その所在は確定していませんが、位置的な点からすれば北の城が有望です。北の城からは鎌倉時代末から室町時代の陶磁器が出土していることから、戦国以前、大島城は有事の場合の避難施設程度の小規模なものでした。



古い段階の大島城の想定図

(340) 埋蔵文化財 (238)

汗をかきかき熱闘スポーツ

第16回 全日本実年県大会

7月7日(土)・8日(日)の2日にわたり、高山村南部グラウンドほかを会場にソフトボールの全日本実年県大会が行われました。松川町から出場した「オール松川OB」は、見事準決勝に進出したが、惜しくも第4位となりました。

準決勝

昭電ク 7-0

オール松川OB

3位決定戦

安曇野倶楽部 7-0

オール松川OB

福与地区公民館 自治会対抗球技大会

7月1日(日) 福与体育館で福与4地区対抗の球技大会が行われました。結果は次のとおり。

ゲートボール

優勝 中の村

準優勝 間沢
第3位 寺沢
第4位 福沢
ビーチボールバレー男子

優勝 福沢
準優勝 寺沢
第3位 間沢
第4位 中の村

ビーチボールバレー女子
優勝 福沢
準優勝 間沢
第3位 寺沢
第4位 中の村

松川町自治会対抗 ソフトバレーボール 大会

7月8日(日) 松川町民体育館で自治会対抗のソフトバレーボール大会が開催されました。33チーム165人が参加。25歳以上の部と40歳以上の部に分かれ、1チーム4人で15点の2セット先取で試合が行われました。結果は次のとおり。

25歳以上の部

優勝 宗源原シールズ
準優勝 ファイヤーマン

第3位 新井南部
第3位 ウイルソンA
40歳以上の部

優勝 FCM
準優勝 大栢不惑
第3位 町谷A
第3位 サンフラワーズ

上新井地区公民館 ソフトボール大会

7月29日(日) 松川町運動公園グラウンドと町営グラウンドを会場に、上新井地区のソフトボール大会が行われました。11チームが参加し、気温30度を超す中、暑さに負けないプレーを見せていました。結果は次のとおり。

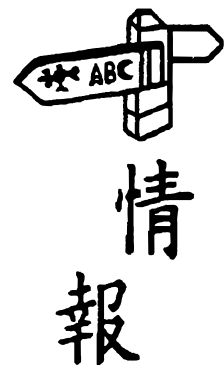
優勝 新井南部
準優勝 松川
第3位 滝の沢

松川町ゲートボール連盟 夏季大会

7月19日(木) 松川町運動公園グラウンドで、松川町ゲートボール連盟の夏季大会が行われました。結果は次のとおり。

優勝 福沢

準優勝 こぶし
第3位 さくら



本館行事

トランポリン教室

期日 8月31日(金)
9月7日(金)
9月14日(金)
時間 午後7時より
場所 町民体育館

まつかわ大学

期日 9月1日(土)
時間 午後1時30分より
場所 町民体育館

松川町音楽祭

期日 9月16日(日)
時間 午後1時より
場所 町民体育館

映画会

期日 9月24日(月)
時間 第1回午前10時
第2回午後1時
場所 町民体育館

地区館行事

古町地区公民館

古町区民スポーツ大会
期日 8月26日

古町区民ふれあいの旅

期日 9月9日

古町地区自治会対抗

ソフトボール大会
期日 9月16日

上新井地区公民館

上新井地区ソフトバレーボール大会
期日 8月26日

名子地区公民館

名子区民ふれあいバスツアー
期日 9月2日

名子地区ベタンク大会

期日 9月16日

福与地区公民館

福与地区マレットゴルフ大会
期日 9月9日

生東地区公民館

生東地区スポーツ大会
期日 9月17日



全国大会優勝を目指して

松川中学校男子バレーボール部



松川中学校男子バレーボール部は、中体連夏季大会において県大会・北信越大会を制し、全国大会に進みました。

現在部員は3年生が8人、1年生が6人の14人で頑張っています。人数こそ少ないですが、ほとんどの部員がジュニアバレーボールクラブからの経験者で特に3年生は小学生で全国ベスト8まで進出した実力者揃いです。顧問の山田先生は「長野県大会を勝ち抜くのは

大変な事なので自信が持てた。春の新人戦では北信越大会で優勝しているの他のチームから目標とされている所はつらいですが、つねにチャレンジャーの気持ちでいるように指導している。勢いを大事にして全国大会へ出場したい。」とおっしゃっていました。

またキャプテンは「県大会決勝ではセットを取られてしまい苦しかったけれども保護者の方々の応援や先生方の指導のおかげで優勝出来て良かった。一戦一戦を大事に戦いたい」と話してくれました。なお、全国大会は8月20〜23日岩手県北上市で行われます。

第12回三遠南信教育サミットが、7月13日に松川町市民体育館で開催されました。三遠南信教育サミットの参加者範囲は、静岡県、岡県の遠州地方と愛知県、三河地方及び飯伊地方の教育委員の方々と遠方から当町においていただきました。



三遠南信教育サミット

教育委員会

ことでした。

事例発表では、「市町村合併により新たな教育の出発」を愛知県新城市教育委員会の和田教育長、「歴史と文化の

椋鳩十記念図書館長久保田毅先生のお話がありました。この作品は、椋鳩十の代表作でぜひ読んでいただきたいとの

長谷部 守

田教育長の3名の方に発表

いただきました。事例発表で共通して言えることは、良い教育とは何か。また何ができるのかと日々苦勞されておられることが伺えました。

こぼの詩

図書館

北小5年 石黒晃大
ぼくは、図書館によく行く。いろいろな本を借りる。

中でも、ミルキー杉山のシリーズが好き。その本をみつけると、すぐ借りる。

「君も犯人探しをしてみよう」と書いてあつて、犯人探しができるのが楽しい。結びよく9冊全部読んだ。今度は、ひみつシリーズに、ちよう戦している。いろいろなひみつが分かつておもしろい。また、新しい本をいっぱい借りた

クラスの仲間

北小5年 片桐広貴

5年生のクラスには、おとなしい人、やんちゃな人、いろいろな仲間がいる。そんな仲間には、悪い所だけじゃなく、いい所、やさしい所がいっぱいある。悪い所、いやな所だけ見るんじゃなく、クラスの仲間だからこそ、いい所、やさしい所を見つけていこう。大切な仲間友達だから。

俳句

米山 護

夏帽子風に吹かれて旅の顔

風鈴の鳴れり世間は騒がしく

ビールより麦茶を所望土用入

終電に酔客となり夏惜しむ

短歌

中平恵子

人の世の争いなきを念じつゝ、

道祖神の碑の肩にふれいる

青梅を鼻歌うたいつ夫と採る

梅ころころと木下に遊ぶ

夕空のアルプスに流れる厚き雲

薄らぎゆくか明日の朝には

孫等来て夏いつばいを賑わいし

小さきプールにさざ波の立つ

添寝する母の寝顔は遠い日の

幼き吾を抱きし顔なる



●フェスタぎおん (7月7日)



視点

今年も町に初夏を告げる「祇園まつり」が、上片桐と新井で開催された。2週間違いの日程だったが、両日とも好天に恵まれ、大勢の祭客で賑わった。その様子をカメラで追ってみた。



●あらいのぎおん (7月21日)



草

7月に親戚の家のぶどうの袋かけを手伝った。袋かけは初めてで素人の私で大丈夫?と心配しながら始めた。やり方自体は難しいわけではないけれど、房の大きさによって袋の大きさを換え、閉じる所は頑丈にしすぎず、でも取れてしまわないように気をつけなければいけない。良い物を作るためには一つ一つのちよつとした作業でも手を抜いてはいけないと感じた。中学時代に花つけ作業をした時は一日が長く感じいやで仕方なかったけれど、年をとったせいか(一日だけの手伝いというのもあるが...)苦痛に感じなくなった。一年を通して作っている農家の方たちの大変さを改めて実感した。

実はあまりぶどうが好きではない私。この機会に好きにならな。とも言われたが、好きになるのは難しいけれど、自分が携わった物が美味しく出来てほしいと思う。これからのいろいろな果物が収穫される季節。台風などの被害がないよう祈って、作る方たちに感謝し、美味しい果物が味わえることを期待したい。

宮崎亜希子

公民館報
「まつかわ」
第 526 号
平成19年 8月15日

発行所 松川町公民館
責任者 松村直彦
編集人 公民館編集部
Tel 36-2622
e-mail: ckouminkan@matsukawa-town.jp
飯田市上郷黒田121
印刷所 龍共印刷(株)